NIE実践報告

１．タイトル：政令指定都市ふるさと新潟市について調べよう(新潟巡見)

２．学校名

新潟県新潟市立亀田西中学校

３．実践者名（代表者名）

笠原　朗

４．学年

第2学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　124人

６．単元（本時の学習課題）名

「ふるさと新聞をつくろうⅡ」(1年次に制作した亀田地域新聞の経験を生かす)

７．目標（狙い）

新潟市地域に関する記事から、テーマを決めて調査活動を行い、調べたことを個人新聞にまとめる。その後、内容を整理して、わがまち新聞コンクールに応募する。資料の収集、整理、情報の伝達を目標とする。

８．評価の視点

新潟市に関する記事(12年前の市政100年の新聞記事を導入に使用)を読み、テーマを設定し、校外活動や新聞等で資料を収集し、その情報を活用して、個人新聞を制作することができたか。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「政令都市新潟市について調べよう」 [総合的な学習の時間:26時間]

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)新潟地域について理解を深める(8時間)
　ふるさとに関する新聞記事を見つける。地域についての資料を集める。
　ビデオ、講演会等で地域を知る。
(2)テーマ設定(2時間)
　6テーマ(歴史、産業、福祉、自然科学、環境、職業)から、調べてみたいと思うテーマを選択する。
(3)調査活動(6時間)
　事前に訪問先に質問事項を送付する。
　当日の訪問では、見学や担当者へのインタビューを通して、より具体的な知識を得る。
(4)新聞づくり(8時間)
　わがまち新聞コンクールに応募。
(5)発表会(文化祭)　(2時間)

11．児童・生徒の反応、感想・意見

　地域の人物や、身近な環境問題、伝統産業、イベント、公共施設、名所などのテーマを設定し調査活動を行った。その後、その内容を個人新聞にまとめた。

12．成果と課題

　新聞を広げるといろんな記事が目に入ってくる。新潟市では、開港150年、田園交響都市、政令指定都市をアピールしている。そこで市外の記事であっても、それが新潟市ではどうなっているかという視点で見る観点を育てたい。そこから新潟が全国、世界とつながっていることを実感させ、次年度の3年生での区長と語る会にも新聞を活用し、生徒にさまざまな課題があることに気づかせたい。